

☆南山幼稚園の一日☆

○登園時、4・5歳児は玄関前に集合し、園長先生と一緒にみんなで気持ちよく朝の挨拶をします。

「昨日の遠足楽しかったね・・・」

「今日はこんなことをしますよ・・・」等

みんなで経験したことを振り返ったり、今日の予定を話したり、その季節や自然の話、手遊びなど、親子で楽しく一日の始まりを迎えます。

3歳児は保育室前で、担任と元気にあいさつをして、一日が始まります。

○所持品の始末

カバンの中から、タオルやコップ、その日に必要なものを所定の場所に出し自分で身支度をしています。

『自分のことは、自分の力でやり遂げる』

自立に向かう子供に育てるために、担任は一人一人にきめ細やかに援助していきます。

○主体的な遊び

「何をして遊ぼうかな」「こんなことやってみよう！」

『やりたい遊びを見つけ、何をしようかという目的をもち、自分の力を出して主体的に取り組む』

南山幼稚園では、子供たちがワクワクする遊びが生み出されるように環境を作っています。

いろいろな場、遊具、用具、素材、自然・・・身の周りにあるものに関わることが、主体性を発揮する力となります。



楽しい遊びが生まれているところでは、物や道具と向き合い、使い方を学びます。

自分とは違う相手と向き合い、コミュニケーションの仕方を学びます。

考えや思いを表し、新たな自分と出会います。

それが、幼児教育の学びです。小学校につながる力となります。



○学級での活動、個人や数人で取り組む課題活動

経験の広がり、深まりを考えて、南山幼稚園では、年間の指導計画により、発達や時期に即した活動を行います。
体験したことが連続性や関連性をもつことで、心豊かな成長へとつながります。



○当番活動

自分たちの幼稚園のために、5歳児は、みんなで協力し合って、いろいろな仕事を担っています。

「きれいなお花いっぱい咲くといいな」

「砂を掃いて、滑らないようにしよう」

「さくらぐみさん、ありがとう」

「カメさん、ごはんだよ」

みんなの役に立つ喜び、みんなでやり遂げる達成感、

生活の中には、子供たちですすめていけることがたくさんあり、みんなが力を発揮し、充実感を味わう経験があります。

○昼食

「今日はお弁当に何が入っているかな？」

家庭で作っていただいたお弁当を開けると、子供たちはうれしさをいっぱいです。

「ホウレンソウ、食べたよ」

「お弁当箱、ぴっかぴかでしょ！」

友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食べると、食も進みます。

「いつもおいしいお弁当をありがとう」

子供たちは、感謝していただきます。



○外遊び

南山幼稚園の子供たちは、小学校の広い校庭も遊び場として利用しています。

広い校庭で思いきり走ったり、乗り物に乗ったり・・・

伸び伸び体を動かして、丈夫な心と体を作ります。

都会の中で、身近な自然に恵まれた園庭で、トンボやチョウチョ、カ

エルやクモ、小さな生き物との出会いで、子供たちの心が躍ります。

自然との関わりを大事にした保育を行っています。



○歌う、踊る、見る、思う・・・降園時の活動

学級の友達と踊ったり歌ったり、学級の友達と一緒に楽しく過ごします。

絵本や紙芝居を楽しんだり、1日をふりかえったり、明日の話を聞いたりして、

「今日も楽しかったな。明日も幼稚園で楽しく遊ぼう」

と心弾ませて「さようなら」のあいさつをします。



○降園～園庭開放

「さよなら」した後も、もうちょっと遊ぼう！

保護者の皆様に見守られながら、もうひと遊びしてから帰ります。